



問 水害時の避難支援について

答 備えあれば憂いなし

空振りでもいい、余裕をもって避難しよう。

問 災害対策本部から区長への連絡方法は。

生活安全課長 基本は電話連絡ですが、状況によってメールも利用します。

問 防災ステーション下のマイカーによる一時避難所やその他の避難場所と注意点はいつどのように広報するのか。

生活安全課長 各避難所の注意点や親戚・知人宅・自宅の垂直避難などを含め、チラシの全戸配布で周知します。

問 役場3階にある町議会の議場も避難所にできるのでは。

生活安全課長 役場2階までの浸水を想定し、災害対策本部の垂直移転先として予定していますので、住民の方の一時避難所としての活用は難しいと考えています。

問 防災ステーション下の一時避難所に仮設トイレが必要ではないか。また、車両の誘導は。

生活安全課長 仮設の水洗トイレ8台を2か月間リースしました。また、駐車場枠を表示し、係員を配置します。

問 各避難所の受け入れ可能枠はコロナ予防で減少するが、受け入れ方針は。

生活安全課長 時間に余裕がある場合は、収容状況によって来場者を別の避難所へ誘導することもあり得ますが、避難指示発令時は来場者を全て受け入れることとしています。

問 避難と聞くと、どこかに逃げなければいけないような感じをもつが、ハザードマップなどにより自宅での垂直避難もあることを周知すべきでは。

生活安全課長 避難場所のチラシ、広報ごか、町のホームページでも紹介していきます。

問 避難時は自助として、各自、飲料水や食料、避難先で過ごすための品物を持参すべきでは。

生活安全課長 広報ごか、水害ハザードマップなどで紹介しています。

問 利根川堤防の新幹線橋梁部は堤高が低いので土嚢を積んでいるが、経費はJRに請求すべきではないか。

生活安全課長 国との協議の結果、堤防強化事業が終了するまでは、水防活動としての対応を要請されており、利根川栗橋流域水防事務組合と費用負担について協議中です。

問 避難勧告を出すような事態の時は、報道機関に対し危険な状況を報道するよう促すべきでは。

生活安全課長 国交省では既に水位情報などを配信していますし、町としても情報発信していきます。



避難方法の選択

ハザードマップ等で浸水想定を確認しましょう。

安全な場所で
車内待機

安全な場所にある
知人や親戚宅

垂直避難

指定避難場所

